

R5 校内研修の振り返り

6月2日 算数科「単位量あたりの大きさ(1)」

(1) 課題意識をもって追求する姿

【成果】

- ・導入でマットの数が同じ場合、人数が同じ場合の混み具合を比べてから、どちらの数もそろっていない場面に着目させたことで、既習事項では比べられない困り感を児童から引き出すことができた。

【課題】

- ・「どう比べたらよいだろうか」という本時の課題が、児童の困り感に合っていなかった。そのため、自力解決の時に手が止まってしまう児童が多かった。
- ・本時の課題を作るまでに、何に困っているのか、こうしたらできそうなど、児童から引き出すことが必要だった。

(2) お互いの考えを話し合う姿

【成果】

- ・ホワイトボードを班に1つ用意して話し合わせたことで、式の数値の意味を考えたり、図をかいて確認したりと、班全体で考えることができた。

【課題】

- ・1つの考えを取り上げて班で考えさせたため、分かっている児童が多く発言し、分からない児童が話を聞く時間になってしまった。1人1人が考えをもっておくことが必要だった。

9月12日 算数科「図形の角」

(1) 課題意識をもって追求する姿

【成果】

- ・具体物を使って四角形の内角の和を考えさせたことで、意欲的に取り組む児童が多かった。

【課題】

- ・三角形の内角を求めた方法で一度四角形の内角が 360° になることを確認した後に、「三角形に分けても四角形の内角の和を求められるか」考えたが、児童にとって三角形に分けて内角を求める必要感をもたせることができなかった。

(2) お互いの考えを話し合う姿

【成果】

- ・四角形を対角線2本で4つの三角形に分ける方法が出たところで、「うまくいかない」「どうしよう」と考えたい、話合いたい思いを引き出すことができた。

【課題】

- ・2つの三角形に分けた方法を全体共有したときに、 180° はどの部分を指すのかをしっかりと覚えてから話し合いに入る必要があった。